

団体との懇談会でいただいたご意見・ご提言

8月6日(月)開催

【出席団体】

長野県経営者協会 / 長野県中小企業団体中央会 / 長野県商工会議所連合会 /
 長野県商工会連合会 / 日本労働組合総連合会長野県連合会 / 信州・長野県観光協会 /
 長野県農業協同組合中央会 / 長野県森林組合連合会

8月7日(火)開催

【出席団体】

長野県男女共同参画推進県民会議 / 長野県医師会 / 長野県看護協会 /
 長野県社会福祉協議会 / 長野県老人クラブ連合会 / 長野県高齢者福祉協会 /
 長野県身体障害者福祉協会 / 長野県国際交流推進協会 / 長野県防犯協会連合会

8月17日(金)開催

【出席団体】

長野県芸術文化協会 / 長野県環境保全協会 / 長野県自然保護連盟 /
 長野県市町村教育委員会連絡協議会 / 信濃教育会 / 長野県PTA連合会 / 長野県体育協会

意見・提言件数 分野別内訳

環境	産業・雇用	医療・福祉・安全・安心	教育	地域・人権・共同・社会基盤	県政の推進、計画全般	合計(件数)
7	19	26	21	10	10	93

環境

施策分野	意見・提言等
温暖化	小水力発電を行う際、水利権が非常に面倒。地域で小水力発電を行う場合、県の許可できないのか。
森林	中山間地域の活性化とそれに伴う里山の森林整備や獣害対策を推進し、若者が定住し、住民が安心して生活できるように取組を重点的に進めて欲しい。 森林整備について、今から、企業、地域がみんなで協働してやっていくという雰囲気づくりをしておくことが重要
自然環境	過疎地では、野生動物との共存が課題。適切な調査、対応という面で不十分 長野県のポテンシャルの豊かで美しい自然を維持しつつ後世につなぐということが目標にあって良い。
環境保全活動	環境教育を体系的、かつ包括的にやっていくことが必要 豊かで美しい自然は今後とも長野県にとって重要であり、自然に配慮した開発、自然を活かした政策を強く望む。

産業・雇用

施策分野	意見・提言等
ものづくり産業	メディカル関係や航空機産業、伊那谷のアグリイノベーション構想、6次産業化など、新しい産業を創り出すことが必要
	当面の産業界の問題は6重苦問題(円高、高い法人税率、貿易自由化の遅れ、労働規制、温室効果ガス抑制策、電力不足)
	「ものづくり産業振興戦略プラン」の取組を踏襲すべき。
観光	地域連携の必要性を地域も感じているが方法論が分からない。
	身の丈にあった観光という意味で、県内需要の拡大も正面に据えるべき。
	長野県で3泊4日でき、いろんな地域を見てもらえるような、動ける仕組みを考えてもらいたい。
	自然への重要性が高まっている中で、これまでの人数を多くするのみの観光のあり方は再考が必要。世界的に通用する観光地にするためには質を維持し、高めることが必要
農業	「世界品質の農産物」は、誤解を招かないようにお願いしたい。長野県の農産物はレベルが高いので、世界のスタンダード程度では困る。
	農産物について知的財産権をしっかりと確保するような取組を進めるべき。ブランド化され、生産者に還元できる仕組みをつくるべき。
林業・木材産業	国や県などの公共建築物への木材の利用、天然資源としての木質バイオマスの利用を速やかに推進していくことが必要
商業・サービス業	若い人を中心に創業支援が必要
ブランド	「長野」や「信州」の使い方を整理すべき。企業、農業など全体が力を合わせて構築できないか。
	県民全体で県を有効に活用しよう、県産品を愛しましょうという取組が必要。信州というブランドで取り込みながら発信する体制が必要
	県産品の地域間の流通が重要。どこでどうしたら県産品が手に入るかがわかるシステムがない。
雇用・労働環境	地域コミュニティを維持していくためにも、地域に若年者の雇用が確保されていることが必要
	女性を重要なポストに据え、女性の雇用の場を確保すべき。
	今のデフレ長期化の原因は、物を欲しがらる階層にそれを買うだけのお金がまわっていないからである。日本国全体の経済システムを直さないといけない。
	ワークシェアや、協同で出資して協同で働いて協同で分配しこの地で暮らすことが幸せなんだというような、雇用の新しい価値を生み出すことを考える研究チームを作っていただきたい。 女性が安心して働き続けられる環境づくりのため、院内及び市町村保育所の整備、産休・育休・介護休暇の代替職員の確保、潜在看護職員の実態把握と再就職支援、育児・介護短時間勤務制度の活用促進、夜勤・宿直実施者の負担軽減対策、男性の育休取得促進が必要

医療・福祉・安全・安心

施策分野	意見・提言等
健康	健康寿命を平均寿命により近づける対策が第一の課題。具体的な策として、本県で多い脳卒中の危険因子である高血圧症の対策に、官民一体で取り組むことが必要
	疾病予防対策と早期発見のため、県・市町村・事業所等保健師数の充実、地域住民の健康啓発活動支援が必要
	安心して医療・介護が受けられるために、二次医療圏を中心とした急性期医療から慢性期医療の確保・充実、在宅医療・介護及び介護施設の充実、医療・介護・福祉の連携体制の整備が必要
医療	各関係機関との連携だけでなく、県民ひとりひとりが自らを考え、長生きのゴールは安らかな人生の終末で迎えられような長野県を目指す議論を始めて欲しい。
	住み慣れた地域で自分らしく生活していけるような身近な地域での医療福祉サービスの提供を図って欲しい。
子育て	安心して出産・育児ができる環境整備のため、分娩取扱施設の整備充実、積極的な助産師の有効活用、小児救急24時間体制の整備などが必要
	小児科医も含め、複数の産科医が基幹病院で確保でき、そこに助産師が配置されることが必要
	福祉の面からも、子供達が育っていく必要最低限の仕組みがないと安心して暮らしていけない。
高齢者福祉	退職した人の経験を活かすため、長野県が全国に先駆けて元気な高齢者が社会参加できるシステムづくりにチャレンジすべき。
	長野県では初期高齢者を15歳プラスして70歳にするなど、元気な、健康な長野県ということキャッチフレーズにしたらどうか。
	安心して暮らせる施設や在宅介護について方向性を考えてもらいたい。
	現在養護老人ホームはかなりの施設で定員割れを起こしている一方で、特別養護老人ホームは施設ごとに100名の待機者を抱えている。空いたベッドの有効利用を考えられないか。
高齢者福祉について県民がどう望んでいるかを吸い上げるようなものがあればいい。国と長野県の考え方が変わってきている。	
障害者福祉	障害者が一人の生活者として尊重され自分らしい生活を送ることができるよう社会参加を促進するとともに、県民の理解を深める施策に取り組んで欲しい。
	パーキングパーミット制度の導入をお願いしたい。
	障害者の地域移行が進むには居宅介護や重度訪問介護が必要
	障害者からの相談について、電話では難しいので、身近にあって親切丁寧な対応ができる体制が必要

施策分野	意見・提言等
地域福祉	福祉従事者の需給バランスが悪いことが問題。福祉教育で、小さい頃から学び、経験することで光明が見えてくるかもしれない。
	高齢者福祉の事業は高齢者のみならず、次代を担う福祉人材育成のための、福祉経験や体験を網羅した事業がセットであるべき。
	看護・介護人材の育成・確保に取り組んでもらいたい。
	福祉は素晴らしい職業であると社会が応援して欲しい。
	福祉人材は現在女性が中心であり、子育て中の職員確保・継続が重要となっている。施設に保育所や児童施設などの併設が当然あるべきスタイルとして、設置への支援があればいい。
社会援護	生活困窮者が出ており、単に過去の制度では救いきれない狭間にあることが多いことが課題
治山・治水・砂防	コンクリートに頼った砂防ダムなどは効果もあるが、スリット化など自然環境への影響を少なくして低コスト化できる方法があるので、検討が必要
防災	田舎では消防団などいろいろな組織が崩れており、災害のときなどはどうするのが問題
治安	自分たちの地域は自分たちで守るという自主自立的な防犯意識を醸成させることが大事

教育

施策分野	意見・提言等
学校教育	「教育県ながの」、「スポーツ県ながの」を信州教育復活の柱とすればどうか。
	県民と一緒に学校教育をどうつくっていくかについて論議が必要
	学力とともに人間性が大事。そのための教育システムや県の義務教育の人事のあり方など見直す時期に来ている。
	世界の人々とコミュニケーションをしたり、強力なリーダーシップを示すといった能力を養成する教育が必要
	昔の長野県の良さである、働くことに「ずく」を惜しまないことについて教育の場で重点的にやって欲しい。
	昔よく言われていた、働かざるもの食うべからずという言葉のように方向付けをすれば長野県としても大きな力になる。
	働くことの意義を学ぶことは大切で、小中学校から働くことを経験したり、アルバイトを単位で認めたりしてもいいのではないか。
	実習も含めた福祉教育を充実させ、福祉の現実を若い頃に認識し、ボランティア等に率先して参加できるような土壌をつくるべき。

施策分野	意見・提言等
学校教育	指導者の質によって生徒や選手がどれだけ育つかが決まるため、指導者の教育や選抜が重要
	子供達の健やかな成長のためにも教育環境の整備が重要。教育環境は教室や施設など様々あるが、最大の環境は教師
	教員の資質が大きな課題となっていることについて言葉にならない。
	教員の評価と、教員不適格者に対する何らかの対処が必要
	教員の不祥事は、教員個人だけの問題ではない。子供を一生懸命指導している教員を支援していく制度を考えなければならない。
	1クラスしかないような学校では教員集団が成立しないことから、一人の教員を周りが支え、学校がサポートすることができなくなっている。
	児童生徒数がかかり減少し、学校の統廃合が進んでいく結果、子供達の学校へ通う距離が遠くなる。距離の問題をどう考えるか。
	山間地の中学校では、人数不足で団体競技の部活動が出来ない又は自由に選べない。
芸術文化・地域文化	今の信濃美術館は耐用年数が終わり、後世に残していく作品を置いておくのには不安。修繕をお願いしたい。
	善光寺周辺に美術館などを集め、善光寺を抱えた大きな芸術ゾーンをつくっていったらどうか。
	伝統芸能は、学校を通じないと残せない。
スポーツ	観光・健康・教育との融合によるスポーツの更なる振興を要望
	スポーツ健康長野県として、安心して、いつまでも元気で楽しく暮らせる長野県ということをキャッチフレーズに取組を進めていけばいいか。

地域・人権・共同・社会基盤

施策分野	意見・提言等
地域活性化	人口が減少し、生活基盤であるコミュニティがなくなっていく中で、その地域をどう維持していくのが課題
	中山間地の維持について検討する余地がある。
	地域コミュニティに若い人が極端に少なく、独居老人が増えている。祭りの維持も難しい。地域コミュニティの再構築することにより地道に問題を解決すべき。
	地域の安全や地域力の向上にもつながる絆を強める事業や活動、地域コミュニティづくりといったことを進めていくべき。

施策分野	意見・提言等
男女共同参画	大綱中に、男女共同参画、女性を支持する、支援するという視点が少ない。長野県の中で大事にする視点として、女性を支援する、男女共同参画を進めるという明確な文章が必要
	女性の力をどう発揮してもらうかは、これからの長野県にとって重要な課題であり、大きな目標のひとつにあげてほしい。
農山村	少子高齢化の中、経済的・社会的な面において女性の力を発揮しないと長野県はこれ以上元気にならない。男性の働き方にも係る問題として捉えるべき。
農山村	若者の働く場の創出が必要。都会からも若者を呼んで働いてもらえるような仕組みを中山間地域でしっかり作っていくことが必要
道路ネットワーク	県・市町村道などで、歩行者の立場を考えた歩道の整備をお願いしたい。緑の多い公園やベンチ、水のみ場などを整備すればウォーキング人口の増加につながる。
公共交通ネットワーク	全県下、高齢者が乗り降りがやすく、利用しやすい公共交通をお願いしたい。

県政の推進、計画全般

施策分野	意見・提言等
県政の推進	知事部局に安全・安心なまちづくりを所管する部署を設置していただきたい。
計画全般	「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の「美しい」の概念が広すぎるのでどう捉えていいかわからない。
	5か年計画は総花的ではなく、かなり絞込みをしていただきたい。
	現状がこうだから、将来こうありたいという、強い根拠に基づく具体的で明確なものを描いてほしい。数値目標の設定が不可欠
	県民が一番わかりやすい数値目標をしっかりと掲げるべき。
	20年後の長野県はどうなっていくのか、どうするべきかということを長期的に考えて、しっかりと知事からこうしたいんだという意思表示を出すべき。
	計画や施策を考える際は、過去から学び、思い切った変革を行うことが必要
	現行展開中の施策と、これから打ち出す新規施策との相乗効果が大事。整合性を図ることも肝要
	先見性を持って進むべき方向を示し、多くの共感を得て、重点的な取組を進めていくことが必要
「暮らし」の中身が重要。全ての立場は子供であり県民にあるというスタンスからその中身を検討していくことが必要	